



災害備蓄「保存飲料水」を寄贈【写真①】



特殊詐欺被害防止物品（通帳ケース）を寄贈【写真②】



花火大会翌日に清掃活動を実施【写真③】

■ 県遊協

- 青森県母子寡婦福祉連合会へ災害備蓄「保存飲料水」を寄贈【写真①】
- 青森県交通安全母の会連合会へ20万円を寄付
- 青森県防犯協会連合会へ「万引き防止広報物品（プレート、POP）」を寄贈

■ 支部

- 黒石地区防犯協会へ「特殊詐欺被害防止物品（通帳ケース）」を寄贈（中弘南支部）【写真②】
- 三沢交通少年団へ「交通安全活動用の制服」を寄贈（上十三・下北支部）
- 五所川原地区少年警察ボランティア連絡会へ「少年非行防止広報物品（非行防止標語を表示した菓子包装袋）」を寄贈（西北五支部）

■ ホール

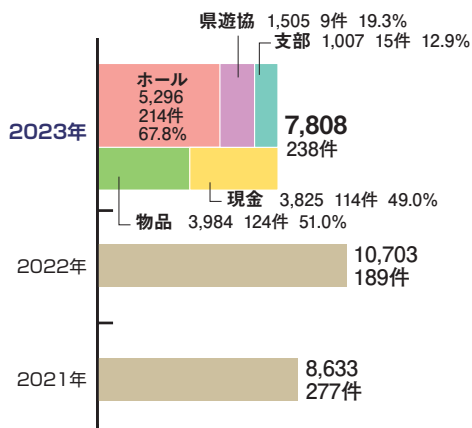
- 「八戸花火大会」が開催された翌日に会場の清掃活動を実施（八戸支部所属9ホール）【写真③】
- 「弘前さくらまつり」会場での、まつり期間前における清掃活動を実施（マルハン弘前店、マルハン弘前石渡店、マルハン黒石店）
- 「浅虫海水浴場」での海開き前における海岸清掃活動を実施（USA青森店、USA弘前店、USA柏店）
- 児童福祉施設等にお菓子を寄贈（組合各ホール）

DATA

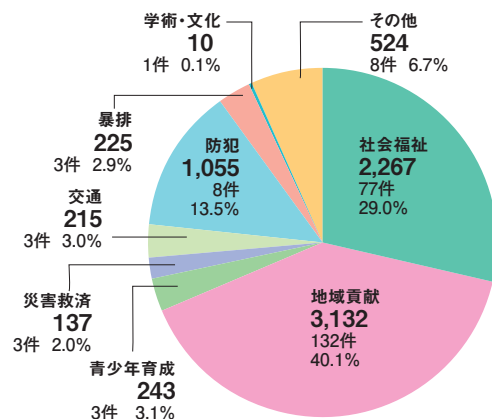
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■ 年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■ 2023年現金・物品の割合（単位：千円）



■ 2023年分野別、拠出額と割合（単位：千円）





工藤 嘉 理事長

■県遊協

- 「街なか防災備蓄プロジェクト」の一環として、JR盛岡駅前において防災グッズや広報チラシを街頭配布した。また、県内各ホールにおいても来店客への防災グッズや備蓄水等を配布し、市民の防災意識の高揚に努める
- 県青年部会が主催し、県内10ヵ所のホール駐車場で献血活動を実施し、近隣ホールスタッフやお客さんを含め、144人が献血に協力した。取組は今回で21回目であり、これまでに延べ4,421人が献血を実施

■支部

- 一関地区遊技場組合青年部会は12月5日、サンタクロースに扮した部会員等が児童養護施設1ヵ所を訪問し、子どもたちへのクリスマスプレゼントを手渡したほか、施設の維持管理費として現金を寄付（一関地区遊技場組合）

■ホール

- セントラル釜石店は、釜石納涼花火大会の開催に合わせ、営業時間を午後6時までに短縮し、自店の立体駐車場を花火観覧席として無料開放（セントラル釜石店）



【写真①】



【写真②】



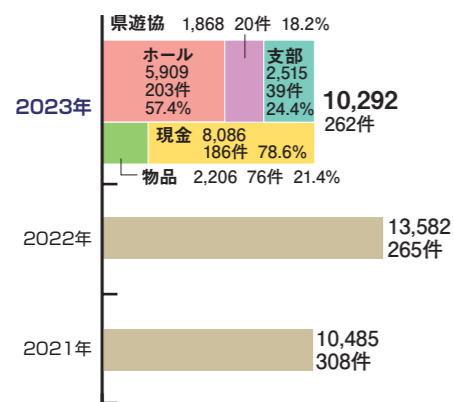
【写真③】

DATA

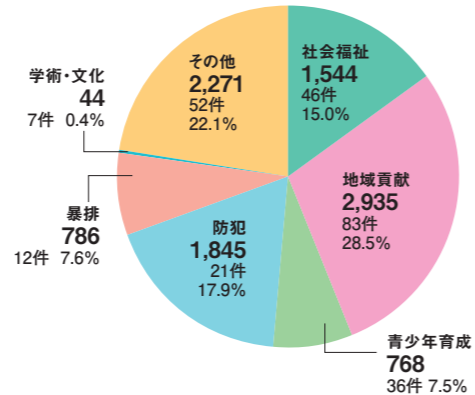
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2023年現金・物品の割合（単位：千円）



■2023年分野別、拠出額と割合（単位：千円）



新井 清浩 理事長

■県遊協

- 県内の安全安心な生活に貢献している団体、(公社)宮城県防犯協会連合会、(公財)宮城県暴力団追放推進センター、(公社)みやぎ被害者支援センター、(公財)日本盲導犬協会仙台訓練センターなどや日本赤十字社宮城県支部、車いすバスケットボールチーム宮城MAX並びに(社福)矢本愛育会ぎんの星、(社福)臥牛三敬会第三虹の園などに合計230万円を寄付。また、ヤクルト東日本支社との共催で上記(社福)矢本愛育会ぎんの星などに「年賀シール」貼付作業を依頼し、貼付手数料を合計117,678円を寄付
- 東日本大震災被災地復興支援等の社会貢献として、(社福)旭が丘学園、NPO法人子どもの村東北、(一社)宮城骨髄バンクの3団体に合計70万円を寄付【写真①】



社会福祉法人やNPO法人への支援金寄付贈呈式【写真①】



東松島市への寄贈【写真②】



【第8回若林・宮城野シーサイドマラソン】【写真③】

■支部

- 地域活動支援として、「気仙沼市総務部危機管理課消防団係」「鹿折地区社会福祉協議会」に賛助会員として加入協力をするともに、「気仙沼みなとまつり」「気仙沼荒磯まつり」などに協賛（気仙沼地区遊技業組合）

■ホール

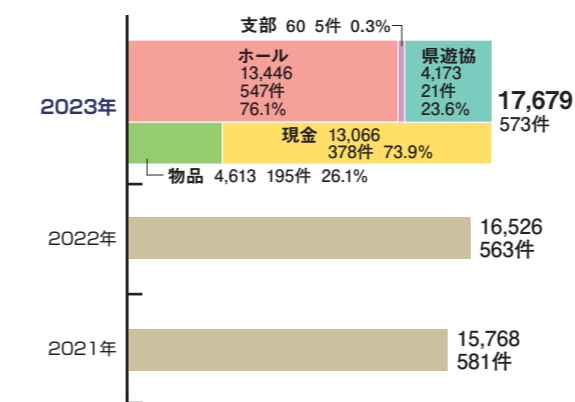
- 地域活動支援として、「東松島まつり実行委員会」「おながわ四季のまつり実行委員会」「オール赤井まつり実行委員会」「東松島市子育て支援課」などに寄付を行ったほか、東日本大震災復興関連として、「NPO法人やっす」などに寄付（株式会社新井商事）【写真②】
- 通年にわたる団体募金や地域清掃活動、福祉施設等への食品寄贈等の社会貢献を継続的に実施。また、防災意識の醸成と地域活性化を目的とした「東日本大震災を風化させない第8回若林・宮城野シーサイドマラソン」を多くのランナーの参加によりマラソンを通じた被災地域の復興等の現状を実感できるイベントを津波被災沿岸部を会場として開催（株式会社マルタマ）【写真③】
- 通年にわたる地域行事等への協賛や募金などを行うほか、特殊詐欺等消費者被害根絶に向けた「消費者被害ゼロキャンペーン」（協賛金385万円）への協賛を行う。また、ホールの主体的取組として地域清掃活動はもとより、奨学、被害者支援、暴力団追放、子どもの疾病、盲導犬等への多岐にわたる支援（扇屋商事株式会社）

DATA

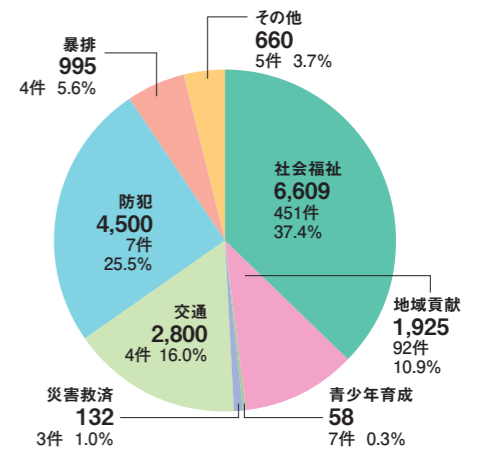
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2023年現金・物品の割合（単位：千円）



■2023年分野別、拠出額と割合（単位：千円）





松岡信吉 理事長

■県遊協

- 秋田中央遊技業協同組合と共同で、秋田県警察学校初任科学生全員に自転車乗車時に使用するヘルメット70個。秋田市内の要保護児童施設の入所児童等に通学時等に使用するヘルメット26個の計96個（総額46万円相当）を寄贈【写真①】
- 秋田県警察本部生活安全部人身安全対策課に対して、闇バイト根絶を図る広報啓発用コンパクトディスク110枚（54,857円相当）を制作し贈呈
- 社会貢献贈呈式において、秋田県内でフードバンク活動を行うとともに、子どもを養育中の困窮世帯等に対する食料の無償提供等日常生活の支援活動を持続的に行っている一般社団法人「フードバンクあきた」に現金計100,000円を寄付【写真②】



警察学校と児童福祉施設に対する自転車用ヘルメットの贈呈式【写真①】

■支部

- 北秋田市立及び小阿仁村立小学校9校の新入学児童153人全員に対して、防犯ブザーを寄贈するとともに、警察本部等関係機関・団体と連携して防犯教室及び交通安全教室を併催し、児童等の安全・安心に寄与（北秋田地区遊技業協同組合）
- 鹿角地区遊技場組合は、鹿角市内の他企業等と共に、鹿角市立、小坂町立小学校及び県立支援学校8校の新入学児童200人全員に対し、200個・総額134,000円相当の防犯ブザーを寄贈（鹿角地区遊技場組合）
- 秋田市内の母子世帯支援施設3カ所に対し、図書カード、冷凍食品、カップ麺、日常生活雑貨等744点（275,932円相当）を寄贈（秋田中央遊技業協同組合）



一般社団法人フードバンクあきたへの寄付金贈呈式【写真②】

■ホール

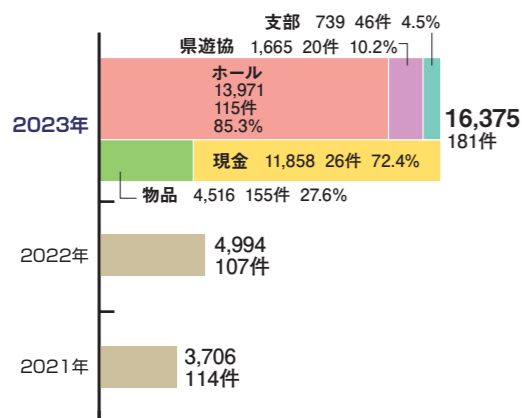
- 大雨による大規模水害において、迅速な災害復旧と社会・経済の復興、被災者における日常生活の安定と質の向上を願い、秋田県に対して、約492万円の義援金を寄付（ダイナムグループ）
- 大館市及び北秋田市における伝統的祭典、地域起こしのための各種イベント、大会を含むスポーツイベントに総額約146万円の協賛金を提供し、地域貢献に尽力（株式会社燦英）
- 大雨による水害において、被害が特に集中した秋田市及び五城目町において、計7日間にわたり延べ26人のボランティアが、被災世帯の泥や汚水排出、浸水家具の搬出と洗浄等の復旧活動を実施（秋田県内ダイナムグループ）

DATA

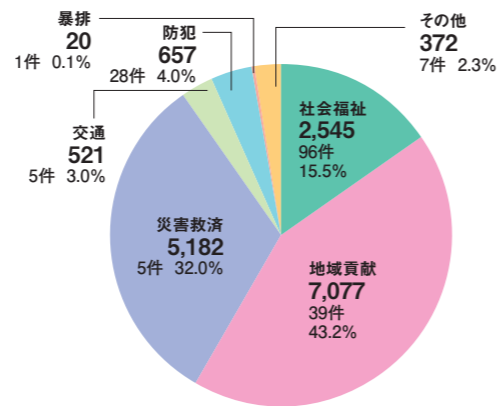
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2023年現金・物品の割合（単位：千円）



■2023年分野別、拠出額と割合（単位：千円）



井上静夫 理事長

■県遊協

- 知的障がい者福祉施設への寄贈が少ないことや知的障がい者の高齢化で車いすを必要とする利用者が増えている現状に鑑み、山形県知的障害者福祉協会傘下の9施設に車いす16台を寄贈
- 駅で高校生等を対象に薬物乱用防止啓発活動と併せた特殊詐欺被害防止対策、ギャンブル等依存対策「STOP 薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ。」「SNSでの薬物売買・特殊詐欺被害に注意！パチンコは18歳から」を記載した蛍光ペン2,000本を配布
- コロナ禍の影響や冬期間による献血不足を受け、組合員ホールスタッフ及び一般の方の参加者を募り組合主催の献血活動を実施



山形県知的障害者福祉協会傘下の9施設に車いす16台を寄贈【写真①】



高校生等を対象に薬物乱用防止啓発活動や特殊詐欺被害防止対策などの啓蒙グッズを配布【写真②】

■ホール

- グループ全店に「募金箱」と「端玉お菓子募金箱」を設置し、お菓子等を県内5カ所の児童養護施設に寄贈したほか、少年軟式野球大会や特別支援学校等主催のお祭りに後援・参加するなど、青少年育成支援活動を継続して実施（株式会社マルホ）
- 県内の社会福祉協議会や子ども食堂に食料品や洗剤等を寄贈したほか、海岸清掃に取り組むNPO法人国際ボランティア学生協会に海岸清掃用具を寄贈（株式会社ダイナム）
- 地域の子ども食堂2カ所にお菓子を寄贈（夢屋新庄店）



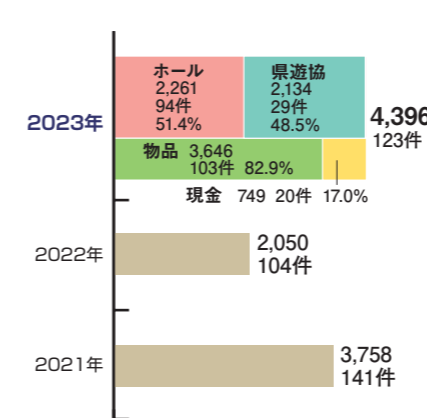
NPO法人国際ボランティア学生協会に海岸清掃用具を寄贈【写真③】

DATA

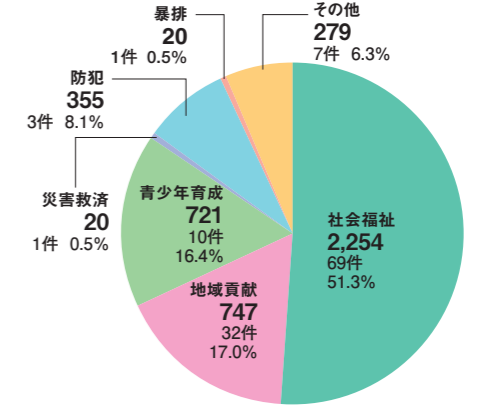
※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合（単位：千円）

■2023年現金・物品の割合（単位：千円）



■2023年分野別、拠出額と割合（単位：千円）





諸田英模 理事長

■ 県遊連

- 福島県遊連青年部が県内の「子ども食堂ネットワーク」に活動助成金 10 万円を贈呈
- 福島県遊連が日本赤十字社福島県支部に赤十字活動資金 10 万円を寄付 [写真①]
- 福島県遊連チャリティゴルフコンペ参加者からの寄付と県遊連からの寄付を併せて 10 万円を「公益社団法人ふくしま被害者支援センター」に寄付 [写真②]

■ ホール

- 男子プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」のホーム戦毎試合に、社会福祉協議会を通じて、障がい者 30 名を招待 (株式会社ニラク) [写真③]



日本赤十字社福島県支部に赤十字活動資金を寄付 [写真①]



「公益社団法人ふくしま被害者支援センター」への寄付金贈呈式 [写真②]



プロバスケットチームの試合に障がい者を招待 [写真③]

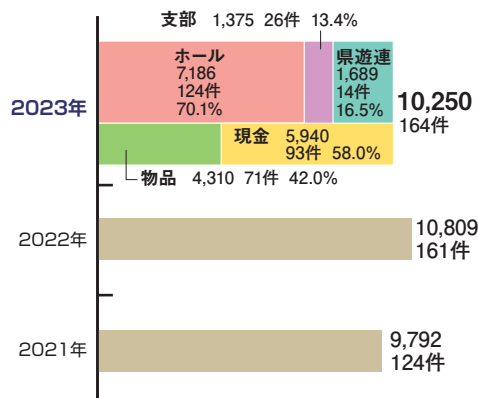
東北

DATA

※物品は現金換算した金額です。
※グラフに記載されている金額はすべて下3ケタを四捨五入しています。したがって合計が合わない場合があります。

■ 年別拠出額と拠出件数及び拠出元別拠出額と割合 (単位：千円)

■ 2023年現金・物品の割合 (単位：千円)



■ 2023年分野別、拠出額と割合 (単位：千円)

